

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	有限会社 貞水企画室
公演団体名	有限会社 貞水企画室

内容



※児童、生徒さんの状況、学校様のご都合に応じて調整が可能です。

一、 講談「三方ヶ原」～修羅場よみ～
 二、 講談の道具説明（釈台と張り節）
 三、 講談の読み方（語り方）
 四、 みんなでバン！バン！ 張り節体験
 五、 講談ジャンルクイズ
 六、 学校エピソード講談
 七、 講談権古
 八、 連続講談（前半）

各項目で知っていただきたい知識ポイントを絞り、
講談がどんな芸能なのか？
ワークショップ全体の流れの中で、
講談を知っていただける工夫を施しています



講談教室スタート 若手3人が
明るく楽しく進行します！

自己紹介を兼ねて、
それぞれが簡単な講談の一節でアイサツ



主な出演者

 旭堂南樹	 玉田玉秀斎	 田辺誠輔	 一瀬高貞輔	 宝持翠樹	 一瀬高貞寿
 旭堂南義	 旭堂南希	 神田春陽	 神田山鏡	 田辺銀造	 神田すず

講談はもとより江戸（東京）と上方（大阪）に存在しています。
 また近年では女流講談師が多く活躍するようになり、
 今や全体の半数以上を占めるようになりました。
 それぞれの特徴を生かしながら、賑やかに進行して参ります。

知識ポイント 講談の雰囲気

一 講談「三方ヶ原」～修羅場よみ～

武田信玄の軍が、徳川軍に城に攻めかかるシーン
講談の迫力の語りと、威勢よくバンバンと鳴り響く張り扇。
まずは講談がどんな芸能なのか？
講談の基本である「修羅場よみ」を鑑賞してもらいます。



「修羅場」とは激しい合戦の場面のことです。
講談師は入門すると先ずこの「修羅場よみ」の修行をします。
そこで腹から声を出すことを覚え、声を鍛えます。
そして講談の独特の調子と間の基本を取得するのです。



そして

武芸物（宮本武蔵など） ▶ 様々なジャンル

と修行は進んでゆきます。

知識ポイント 講談のルーツ、道具、演出法（動き）

二 講談の道具説明（釈台と張り扇）

道具の説明をしながら、講談がどんな芸能なのかを理解してもらいます。



釈台

Q 何で「釈台（しゃくだい）」っていうの？
何のための小机（釈台）？

A 『講談（こうだん）』＝『講釈（こうしゃく）』ともいいます。
講釈で使う道具だから釈台。分かり易く解説することを講釈する
といいますね。江戸の時代、一般庶民の多くは字の読み書きが出来
ませんでした。そこで浪人などの知識人が、昔からある本を面白く、
分かり易く解説（＝講釈）しながら読んで聞かされたのです。これが
講談のはじまり。釈台は本来、本を置くための物なのです。

※実際に「本牧亭」で使われていた、
昭和初期の釈台



釈台の上に本を置いていなくても、一席（演技）の終わりに講談師が
『一席の読み終わりでございます。』
って云うのは、その名残です。



講談師を先生と呼ぶのも、当時では学校の先生みたいなところがあったからです。

張り扇

Q 釈台をバンバンと叩いていた、あの白い棒は何？

A みんなにも作成してもらった、あれが「張り扇（はりおうち）」です。ただ読んでいただけではお客様が飽きてしまいますね。張り扇で釈台を叩きながら話にメリハリと調子を付け、より面白く聴かせるための道具なのです。

- 句読点の役割も担っています。
- 張り扇、ボンと一打ちで「早や3年」

※貞水が使用している
（作成した）張り扇



講談師は自分の声の高さや、質に合わせて、自分で張り扇を作成します。
扇を半分に割り、西の内という丈夫な和紙を巻き付けて作ります。



扇子・手拭

Q 扇子と手ぬぐいは何に使うの？

A 「講談」と並び称される日本の話芸二大話芸といえば「落語」ですよ。落語家さんは種ではないですが、何かに見立てて使います。扇子は・・・広げて「提灯」、横えて「刀」など。手ぬぐいは・・・広げて「本」、そのまま「紙入れ（お財布）」など



三、講談の読み方（語り方）

昔話「桃太郎」を講談調で聞いてみよう！



講談は講談調といって独特の語り方をします。
七五調を使い話に抑揚を付けながら語ります。
また話の最後に「切れ場」が付くのも大きな特徴です。



ここでは、他の話芸との語り方と演出の違いを聞き比べてもらいます。
そして講談の語り方の特徴を感じてもらいます。

講談師A(講談) 講談師B(朗読) 講談師C(落語)
3人の講談師が「講談」・「朗読」・「落語」の三役になり実演します。

滑らかで、みんなが
慣れ親しんだ感じですね



句読点にパンパンと張り扇が打たれ、
話にメリハリはあります。



落語は講談と比べ
さらさらとしゃべる感じ、
そして最後にオチ（笑い）がありますね。



品があって桃太郎さんが
とても立派に想像されますね。
そして最後に「切れ場」という
話の締めがありました。
「見事、悪行重ねる鬼たちを
打ち負かしました桃太郎一行（パンパン）～」



知識ポイント 演出法

四、みんなズパン！ズパン！

張り扇体験

二、三で講談の演じ方を知っていただきました。
ここでもう一度「三方ヶ原」を観ると
見え方が変わってきます。



最初にご覧いただいた「三方ヶ原」の中で叩かれていた張り扇。

これを全員でチャレンジしてもらいます。

自分で作った「張り扇」を使ってうってみよう！



一人の講談師が「三方ヶ原」を読みます。
もう一人の講談師が張り扇を打つキッカケを出します。



指を1本出したら
張り扇をパン



2本出したら
パンパン



5本で
パンパンパンパンパン

「三方ヶ原軍記（みかたがはらぐんぎ）」



①頃は元龜三年 申年十月十四日①、武田大僧正信玄は①、七重のならし、



ととのえて②、その勢、三万五千余人②、甲府を雷発して①、遠州周智郡、



乾の城主、天野宮内左衛門景貫①、芦田下野守の兩人を案内者として①



同国飯田多々羅の両城へ攻めかかる。⑤

知識ポイント 講談のジャンル、演出（語り分け）、脚色

五、講談ジャンルクイズ

講談には「お相撲さん」「お侍さん」「泥棒」など色々な登場人物が出てきます。「幽霊」なんかも登場します。そして主人公によって読み物のジャンルが分かります。

講談師はそれぞれのジャンルによって、やり方を変えて読みます。（語り分ける）

お相撲さんが活躍する力士伝では、力強く、どっしと。
幽霊が出て来る「怪談物」ではおどろおどろしくなど

映し出された絵（登場人物）がどんな人なのか、クイズで当ててもらいます。



軍談

合戦を語る。「三方ヶ原戦記」「太閤記」など



怪談物

お化けが出てくる怖い話
「四谷怪談」など



白浪物

泥棒さんが大暴れ
「鼠小僧」「石川五右衛門」など



赤穂義士伝

赤穂浪士の仇討ち



武芸物

剣豪がバツバツと大活躍
「宮本武蔵」など
「荒木又左衛門」など



政談

大岡越前守などの名親き
「大島屋騒動」
「水戸黄門漫遊記」など



お家騒動物

家督争いや、権力争いなどの内部抗争
「加賀騒動」「伊達騒動」など



力士伝

お相撲さんたちが登場する話
「寛政力士伝」など



答えが出たところで、
講談師がその有名なワンフレーズを実演して見せます。



「講釈師、見てきたような嘘をつき」と昔から言われています。
講談師は自分が実際に行ったことも、
見たことも無い時代や出来事（話）に「尾ひれはひれ」を付け、
それをリズムカルな講談調で、
荒唐無稽な話をあたかも本当の事のようにしてしまうのです。



講談はこんな風に大げさな脚色をします。

槍をとった清正、ひとつばらいで10人、ふたつばらいで20人、みつばらいで30人～

見事、扇の的を射抜きました那須の与一、うわーっと上がった関の声はもの凄く、
なんと太平洋を越えてハワイまで轟いたと申します。

知識ポイント 講談はどうやって出来上がるのか

六、学校エピソード講談 キミの学校のエピソードを即興で講談にします！

講談師は、取材→脚本→演出→演者を1人で行います！



現代では一話読み切りが多いですが、本来の講談は、講談師は現地に赴いて、詳しく調べ、それを本におこし、脚色（演出）を加え、自身で演じていました。『清水次郎長伝』などはそのよい例です。

「講談は嘘と本当の丸木橋」大きく脚色した話に、本当の部分（距離や景色など）を織り交ぜることで、話に信憑性を持たせるんですね。



こうして
初めから最後まで全てを
一人でやってしまうのです。



ワークショップ当日の朝、講談師が学校の先生に取材をし、学校エピソードを聞き出します。
その材料をもとに脚本を書き、演出を施し、皆さんの目の前で披露いたします。

身近な校内ニュースを講談調で聴くことで、
興味・関心がさらに広がります。
当日作成のため、学校で起こった旬な出来事をお聞かせ下さい。

実例1 ○年○組の○○君が、柔道の大会で優勝したこと。

火の国熊本柔道の大会において 152 / ●年●組、●●君がなんと 152 /
優勝したのであります。152 / 152 / 15152 / 152 /
決勝戦では両者ともしのぎを削る厳しい戦いの上 152 /
勝利を取めた。ここに未来のエースが誕生するのであります。

実例2 飼育係が可愛がっていたウサギが、赤ちゃんを5匹も生んだ。

彩の国さいたまの●●小学校において 152 / ●月●日 152 /
春先の訪れとともに幸せなニュースが舞い込んできました。152 /
皆に愛されているウサギのピョン吉に 152 /
子供が5匹誕生したのである 152 / 152 /
子供たちは皆に愛され、めでたく幸せに暮らすのであった 152 / 152 / 15152 / 152 /



七、

大きな声で 講談にチャレンジ

講談体験

遠くまで聞こえる大きな声で、ハッキリと読むことが大事です

其一 全員にふる体験!

背筋を伸ばして正しい姿勢で。大きな声で。

1 講談師お手本を見せます。



2 全員で一行ずつ復唱してもらいます。



3 手を挙げた生徒さんに高座でやってもらいます。

我こそは〇〇学校〇年〇組
リフティングにかけては
誰にも負けぬ〇〇(名前)である
我と思わんものは
尋常の勝負におよべ

※セリフをプロジェクターで



ゲーム好きにかけては・・・

メダカの飼育にかけては・・・

など自由に
自分が得意なことを入れます。

※たくさんの生徒さんが手を挙げる、大人気のコーナーです。

其二 3グループに分かれて お稽古(体験)!

低学年・中学年・高学年の3グループに分かれてお稽古をします。

3人一組で講談の一説をやってもらいます。

※中学校では学年ごとにグループ分けをします。

低学年

『水戸黄門』

- ・水戸黄門役
- ・助さん役
- ・角さん役

中学年

『義経と弁慶』

- ・義経役
- ・弁慶役
- ・(ト書き)役

高学年

『修羅場』

- ・前半
- ・中盤
- ・後半

各グループで代表の組を選んでもらいます。

代表の組は本公演で発表してもらいます。

上記 七、はカット致します

次回（後半）は本公演です

八、

連続講談（前半）〈海賊退治、はらばら天狗、宮本武蔵など〉

講談は本来、連続物といって何席あるものです。

面白いところで切ってしまい、また次回に繋ぐ。

テレビドラマみたいなものですね。

※現代はほとんど一席（一話）読み切りで口演しています。

海賊退治

ワークショップ

笹野権三郎という強い侍が風早丸という船に乗る、
瀬戸内海で海賊が現れ船を襲う権三郎バツバツと海賊達をやっつけて行く、
ついに現れた海賊の大将西海灘衛門

「さぁこれから権三郎と西海灘衛門の血闘が内陣の決闘の火蓋が切って落とされる事となる、

ここからが面白いです、残念ながらお時間となってまいります、

この続きは本公演で申し上げさせていただきます。」

続きは本公演で

お楽しみに！

本公演

（軽く前回のあらすじを言ってから）

「さついよいよ相まみえる事になりま二人」

（決闘のシーン）

「見事、海灘衛門を倒した権三郎、

おかげでこれより瀬戸内海、野心して航行するようになったと申します。

海賊退治大団円でございます。」

おしまい

感染拡大防止として下記対応を致します。

①消毒、マスク等着用の徹底

※公演の際は、出演者はマスクを外しての出演となります。

その為、ステージと児童・生徒さんの鑑賞エリアは十分な距離を取るよういたします。

②検温の実施および、体調問診票の提出

またプログラムについては各学校様のご希望に応じて時間短縮等変更が可能です。

タイムスケジュール（標準）

タイムスケジュール例 9：00 スタートの場合

会場入り打ち合わせ 7：45～8：00

会場準備 8：00～8：30

入場開始 8：45～9：00

ワークショップ開始 9：00～10：15

※7をカットし、1時間15分ですが、最大45分まで短くすることが可能です。

打ち合わせ 10：15～11：15

撤収完了 11：15

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

出演者 3名 スタッフ 1名 計 4名

学校における事前指導

張り扇の作成 ※作り方は事前にお伝えいたします。

全校生徒様対象としております。もしお時間が取れない場合は、発表会に参加する生徒様のみの作成でも可能です。ご相談下さい。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	有限会社 貞水企画室
公演団体名	有限会社 貞水企画室

演目



出演：講談協会・なみはや講談協会・上方講談協会・大阪講談協会



講談とは...

釈台と呼ばれる小机を張り扇で
バンバンと叩いて調子を取り、
独得の七五調で物語を語る、これが講談です。

講談を演じることを「読む」といいます。
これは本来、釈台の上に本を置いて読む事を由来とします。
また演目は「読み物」といいます。
読み物の題材は、主に歴史上で実際にあった出来事や人物。それをそのまま語るのではなく、
聞き手が楽しめるよう、史実をもとに壮大な脚色を加えてゆきます。
江戸の時代から今に至るまで、庶民の娯楽として脈々と生き続けてきました。
講談は日本が誇る伝統話芸です。

プログラムの目的と構成

日本の伝統話芸・講談の魅力を「知る」ため、
「学び」・「体験」・「鑑賞」の三つの柱で構成されています。

学び 実演・映像・クイズを交えながらの解説、
展示ブースなど様々な角度から講談を学ぶ。

体験 張り扇の作成、講談の創作、そして講談にチャレンジ！

鑑賞 本物の話芸を体感。

知る 講談の魅力と面白さを知ってもらう。
そして日本語が持つ本来の美しさを感じてもらいます。

ワークショップの事前

体験

張り扇を作ろう 世界に一つ、君だけの張り扇

※ワークショップまでに作成をしてもらいます。
※事前の作成が困難な場合は、体験用の張り扇を当方で用意します。

ワークショップと本公演で使用する張り扇を、
児童生徒さんに作ってもらいます。

ご準備ご用意いただく物



- ・割り箸
- ・水のり
- ・段ボール
- ・白い紙 (半紙)

別紙「張り扇の作り方」マニュアルを参考に
お作りください。
※動画「講談の世界」でも
作り方の実演があります。



動画

「講談の世界」DVD

※一龍斎貞水監修によるオリジナル動画です。

ワークショップの事前に、また本公演までの間の
教材としてご利用ください。

講談とは？

この動画を見れば
講談の一通りを知る事が出来ます。

- ◎ 講談のルーツ
- ◎ 枳台と張り扇
- ◎ 高座（舞台）の裏側
(楽屋の様子や前座さんの働き等)
- ◎ 読み物（講談の演目）
ごとの読み方や演出
などなど・・・



講談本公演プログラム

講談〇〇亭

※〇〇には学校名が入ります。



この日、体育館は

講釈場になります。

本公演と合わせてお楽しみ

！ 講談三二博物館 (展示コーナー) 一龍齋貞水所蔵の珍しい講談グッズを展示

張り扇 貞水が自身で作成し、使用しているもの



火鉢 (手あぶり) 本牧亭でお客様に配られていた小さな火鉢



講談番付表 相撲の番付表に倣い、昭和初期に作成された物



釈台 講談最後の釈場・本牧亭で実際に使用されていた昭和初期の釈台

講談本 (速記本) 講談を速記して本にしたもの (明治～大正期)

点取り本 お稽古を受けるときに自身でポイントを記す本

！ 本格的な釈場を再現

講談の興行 (公演) が行われている寄席 (劇場) を釈場と言います。江戸時代には江戸の各町内あったそうです。当時、講談は庶民の娯楽の中心にあったんですね。



！ 釈場の運営に参加

児童生徒さんにも半被を付けて、運営をお手伝いしてもらいます。

会場係 (10名程度) = 会場のご案内

前座係 (3名程度) = 講談発表会の高座返し (座布団をひっくり返す)



釈場の運営に参加 カットします。

いふいふ
「講談〇〇亭」の開演です

一、 連続講談・後半

二、 講談入門

三、 講談

～お仲入り～

四、 講談発表

五、 色物 紙切りなど

六、 講談

前回（前半）はWSで



連続講談（後半）（海賊退治、はらはら天狗、宮本武蔵など）

※勢いのある若手講談師の講談で元気にスタート！

講談の本来の姿であり醍醐味である連続物を、
ごくごく短い読み物で再現



さて、いふいふ
相まみえる事になりました二人



講談入門 ～新場へようこそ～

1 ワークショップのおさらい

講談をより楽しく鑑賞してもらえるよう、ワークショップの内容から「張り扇」の叩き方など、演技特徴を中心におさらいします。

2 講釈場の解説

講釈場を再現した雰囲気たっぷりの舞台（高座）の中で、講談専用の劇場（寄席）である講釈場の説明をします。

舞台の事を高座って
なんで呼ぶの？

座布団の置き方に
ルールがある！

寄席文字（めくり）
の字の秘密★

前座さんのお仕事～

3 本日の番組紹介

本日の番組（プログラム）のご紹介に合わせ、
講談界の仕組みを簡単にご説明します。

講談の世界には
「前座」「二つ目」「真打」
と三つの階級があります

江戸と上方の講談があります

- ◎ 「真打」になると周りの人から「先生」呼ばれお弟子さんも取れるようになります。
- ◎ 休憩の事を「お仲入り」って言います。その意味。
- ◎ 色物は番組に色を添えるから色物。
- ◎ トリ（最後）とは最後に登場する出演者の事。今日は講談界の大看板真打が登場するよ。
- ◎ 江戸と上方の講談の違い。

三、 講談

お仲入り 休憩 15分

四、 講談発表会 お稽古（ワークショップ）で 選ばれた代表による発表

ワークショップお稽古した成果をここで見せよう！



五、 色物 ちょっと蓄休め びっくり仰天！妙技の数々を楽しもう

紙切り、曲ごま、曲芸など「目」でお楽しみいただきます。

六、 講談

  講談には・・・

上方と江戸

新作と古典

どちらか一席に
怪談話を入れる

などプログラムにアクセントを入れ構成します。

上記 四、はカット致します

主な出演者

江戸 (東京)

 宝井琴梅	 一龍斎真花	 一龍斎真心	 一龍斎真山	 宝井琴星
 宝井琴調	 一龍斎春水 <small>(アニメの声優でもおなじみ)</small>	 一龍斎貞左 <small>(アニメの声優でもおなじみ)</small>	 田辺淡鶴	 一龍斎貞橋
 神田春陽	 田ノ中星之助	 一龍斎貞寿	 神田山鏡	 宝井梅湯
 宝井琴鶴	 神田すず	 田辺銀造	 一龍斎貞鏡	 田辺いちか

上方 (大阪)

 旭堂南左衛門	 旭堂南麟	 旭堂南瀨	 旭堂南湖	 旭堂山南殿
 玉田五秀次	 旭堂南龍	 旭堂南岳	 旭堂南斗	 旭堂南服

色物

 林家正楽 ＜紙切り＞	 林家二楽 ＜紙切り＞	 三浦紋之助 ＜曲こま＞	 柳真家雪之介 ＜大神楽曲芸＞	 鏡味千代 ＜大神楽曲芸＞
--	--	---	---	--

公演時間(90分)

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください	
出演者:	6～7名
スタッフ:	4～5名
合計:	11～12名

タイムスケジュール（標準）					
前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(3 時間程度)					
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
9 時	9 時～12 時	13 時 30 分～ 15 時	10 分	15 時～17 時	17 時

※本公演時間の目安は、午後1時乃至2時からの概ね2時限分程度です。
※基本的には午後公演ですが午前公演希望の場合、前日仕込みをご依頼する場合がございます
※会場の構造により、片付終了が遅くなる可能性があります。

※1 時間 30 分で組んでいますが、授業時間に合わせて、45 分～1 時間 30 分の中で時間短縮も可能です。

実施校への協力依頼人員
●特にありません。

演目解説

これからの日本を担う子供たちに、講談を知っていただきたい・・・

学校の先生方へ

「講談」は「講釈」と呼ばれていました。それは江戸時代、字の読み書きが出来なかった庶民の人たちに、浪人などの知識人が「太平記」などの歴史の本を解りやすく解説を交え、そう講釈をしながら読んで聞かせていたからです。

講談師が前に置く小机＝釈台には本来、本を置きます。今でも演目の事を「読み物」と呼び、講談師(真打)を呼称して「先生」というのは、その当時の名残なのです。講談師の祖先は、今の学校の先生みたいなものだったのです。

それが徐々に演芸として発達してゆきます。すると読み物は脚色に加えられ、話にメリハリを付けるために「張り扇」を叩いたりして、聞き手(お客様)が飽きないような様々な工夫が成されました。

こうして講談は時代、時代の人々に愛され、今に繋がれて来ました。

講談には、日本人が持つ先人からの知恵、人を思いやる道徳心、そして日本語の美しさがあります。

「風化しつつある大切なこと」・・・講談を通して学んでいただけます。

～講談から実際にこんなことが学べます～

- ・言葉の大切さ(相手に伝わる話し方)
- ・人と人との交わり方(友達・親子・先生と生徒)
- ・目上の人との接し方や、言葉の使い方
- ・面倒を見るということの意味(弱者や困っている人を助けること)
- ・作業も工夫をすれば、こんなに早く終わる などなど

このプログラムを通して講談を知っていただき、「また観てみたい、聴いてみたい」と思っただけで幸いです。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

--

児童生徒とのふれあい

--